

■【A】＜市町村レベル＞ 地域診断書（年齢調整）

75市町村・**自立者のみ**比較。全市町村の年齢構成が同じになるように年齢調整（2015年基準人口を年齢を5歳刻みで調整）。基本チェックリスト・幸福感・ソーシャルキャピタル得点（3種類）の12指標。

■【B1~3】＜市町村レベル＞ 地域診断書（全年齢・前期・後期高齢者）

集計に用いたデータの対象者別にB1~B3を作成。

B1：75市町村・**自立者のみ**比較。調査票コア・サブコア・バージョン設問から作成した指標を含めた全184指標。全保険者が掲載対象。継続参加保険者は経年比較有り。

B2：50市町村・**自立者＋総合事業対象者**。報告書掲載の64指標。
調査対象者に、総合事業対象者を含む保険者（市町村）が掲載対象。

B3：54市町村・**自立者＋総合事業対象者＋要支援者**。調査対象者に、要支援者を含む保険者が掲載対象。総合事業対象者が識別不能な13市町村を含む。報告書掲載の64指標。

■【C】＜小地域レベル＞ 地域診断書（全年齢・前期・後期高齢者）

全年齢高齢者・前期高齢者・後期高齢者別。75市町村

小地域・**自立者のみ**比較。バージョン設問からの指標を含めた全184指標。継続参加保険者は経年比較有り。

地域マネジメント支援システム2022

参加している他の市町村と比較するための
地域診断書

市町村レベル

- 【A】 地域診断書（年齢調整）
- 【B1】 地域診断書（自立者のみ）
- 【B2】 地域診断書（総合事業対象者含む）
- 【B3】 地域診断書（総合事業対象者・要支援者含む）

年齢調整を行なった地域診断書。年齢調整を行なっているので、全体のみ。

ベンチマークのために、要支援者や総合事業対象者のデータを除いて作成した地域診断書。

総合事業対象者を含めて調査を実施した保険者向け。総合事業対象者を含めた地域診断書。

総合事業対象者・要支援者を含めて調査を実施した保険者向け。要支援者や総合事業対象者を含めた地域診断書。

小地域レベル

- 【C】 地域診断書（自立者のみ）

市町村内の小地域で比較するための
地域診断書

地域マネジメント支援システムの使い方

2022年・JAGES調査参加自治体
向け資料ページ

地域診断支援システムの見方
(JAGES HEARTの見方)

県 市 共同ルーム

- 4 介護予防・日常生活圏域
ニーズ調査データ送信用フ
ァイル
- 5 報告書・個票データ
- 6 重点対象地域選定シート
- 7 暗号化ソフトとマニユ
アル
- 8 廃棄処理証明書
- 9 地域診断書関係書類



地域マネジメント支援システム2022

検索 リンク追加 リンク編集

市町村レベル

- 【A】地域診断書（年齢調整）
- 【B1】地域診断書（自立者のみ）
- 【B2】地域診断書（総合事業対象者含む）
- 【B3】地域診断書（総合事業対象者・要支援者含む）

小地域レベル

- 【C】地域診断書（自立者のみ）

ご覧になりたい、
地域診断書を
選択

地域マネジメント支援システム2019

検索 リンク追加 リンク編集

!!お知らせ!!

- 【重要】Motion BoardからInstantAtlasへの移行に関するお知らせ文書

地域マネジメント支援システム

JAGES2022 市町村間比較(自立者のみ) 地域診断書 | 要介護リスク (2022年度)



※地域マネジメント支援システムを開く場合、インターネットブラウザは「Edge」、「Fire Fox」
「Google Chrome」を推奨しております



・フィルターの設定

確認したい表示に絞り込むことができる

・地域の選択

タイルの上にカーソルを置くと地域名と数値が確認できる
(上：北海道→下：九州)

JAGES2022 市町村間比較(自立者のみ) 地域診断書 | 要介護リスク



地域診断書の見方

・マップ/テーブルの表示

選択した指標について全保険者のデータを
確認したい場合は、ここをクリック

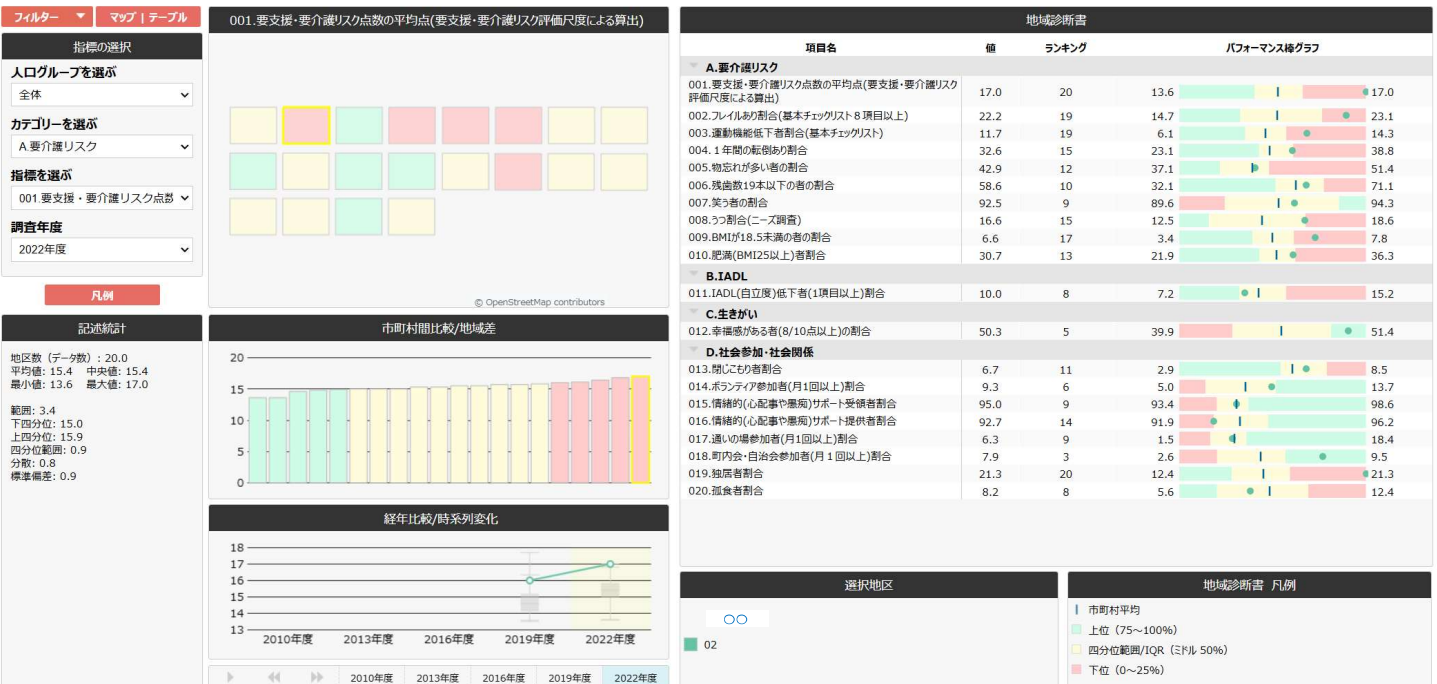
JAGES2022 300BM 地域診断書 | A.要介護リスク (2022年度)



指標定義の見方 (1)

指標の定義を確認したい場合には、
ここをクリック

JAGES2022 300BM 地域診断書 | A.要介護リスク (2022年度)



指標定義の見方 (2)

【2022年度地域マネジメント支援システム 指標定義】

カテゴリ	指標名	指標定義	JAGES 設問番号	ニース調査 設問番号
要介護リスク	要支援・要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)	以下の項目から算出される点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度) 1.性別、2.年齢、3.バスや電車で1人で外出できない、4.自分で食品・日用品の買い物ができない、5.自分で預り金の出し入れができない、6.階段を手すりつたらず立つことができない、7.椅子からつかまらず立つことができない、8.15分位続けて歩くことができない、9.過去1年で転んだ経験が1度または何度もある、10.転倒に対して不安である、11.身長・体重(BMI)が18.5未満、12.昨年より外出の回数が減っている Tsuji T, Kondo K, Kondo N, Aida J, Takagi D. Development of a risk assessment scale predicting incident functional disability among older people: Japan Gerontological Evaluation Study. Geriatrics & Gerontology International 18(10): 1433-1438, 2018. doi.org/10.1111/ggi.13503 https://www.jages.net/library/pressrelease/?action=cabinet_action_main_download&block_id=1900&room_id=549&cabinet_id=155&file_id=7587&upload_id=9183	問4(1) 問4(2) 問4(3) 問4(4) 問4(5) 問4(6) 問4(7) 問4(8) 問4(9) 問4(10) 問4(11) 問4(12)	問4(4) 問4(5) 問4(8) 問2(1) 問2(2) 問3(3) 問2(4) 問2(5) 問3(1) 問3(2) 問3(3) 問3(4)
要介護リスク	フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	以下の25項目のうち8項目以上当てはまる人の割合。 1.バスや電車で1人で外出できない、2.自分で食品・日用品の買い物ができない、3.自分で預り金の出し入れができない、4.友達の家を訪ねることがない、5.家族や友達の相談に乗ることがない、6.階段を手すりつたらず立つことができない、7.椅子からつかまらず立つことができない、8.15分位続けて歩くことができない、9.過去1年で転んだ経験が1度または何度もある、10.転倒に対して不安である、11.6か月間で2~3kg以上体重減少、12.身長・体重(BMI)が18.5未満、13.半年前より間食の量が減った、14.お茶や汁物等が飲めなくなった、15.口の渇きが気になる、16.外出する頻度が月に1~3回またはそれより少ない、17.昨年より外出の回数が減っている、18.いつも同じことを聞くなどいわれる、19.自分で電話番号調べて電話しない、20.今日が何月何日かわからないことがある、21.《ここ2週間》元気がない、22.《ここ2週間》楽しめなくなった、23.《ここ2週間》おっくうに感じられる、24.《ここ2週間》役に立つと思えない、25.《ここ2週間》わけもなく疲れる	問4(1) 問4(2) 問4(3) 問4(4) 問4(5) 問4(6) 問4(7) 問4(8) 問4(9) 問4(10) 問4(11) 問4(12) 問4(13) 問4(14) 問4(15) 問4(16) 問4(17) 問4(18) 問4(19) 問4(20) 問4(21) 問4(22) 問4(23) 問4(24) 問4(25)	問4(4) 問4(5) 問4(8) 問2(1) 問2(2) 問3(3) 問2(4) 問2(5) 問3(1) 問3(2) 問3(3) 問3(4) 問2(1) 問2(2) 問2(3) 問2(4) 問2(5) 問2(6) 問2(7) 問2(8) 問2(9) 問2(10) 問2(11) 問2(12) 問2(13)
要介護リスク	運動機能低下者割合(基本チェックリスト)	以下の5項目のうち3項目以上当てはまる人の割合。 1.階段を手すりつたらず立つことができない 2.椅子からつかまらず立つことができない 3.15分位続けて歩くことができない 4.過去1年で転んだ経験が1度または何度もある 5.転倒に対して不安である ※2010-2013においては、回答が「できるし、している/できない」のみであり「できるけど、していない」という選択肢がなかった。よって、2016年以降と経年で見るとは正しくないため分離することとなった。	問4(6) 問4(7) 問4(14) 問4(4) 問4(5)	問2(1) 問2(2) 問2(3) 問2(4) 問2(5)
要介護リスク	1年間の転倒あり割合	過去1年間に1度または何度も転んだ経験がある人の割合。	問4(4)	問2(4)

地域診断書				
項目名	値	ランキング	パフォーマンス棒グラフ	
A.要介護リスク				
001.要支援・要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)	17.0	20	13.6	17.0
002.フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	22.2	19	14.7	23.1
003.運動機能低下者割合(基本チェックリスト)	11.7	19	6.1	14.3
004.1年間の転倒あり割合	32.6	15	23.1	38.8
005.物忘れが多い者の割合	42.9	12	37.1	51.4
006.残歯数19本以下の者の割合	58.6	10	32.1	71.1
007.笑う者の割合	92.5	9	89.6	94.3
008.うつ割合(ニース調査)	16.6	15	12.5	18.6
009.BMIが18.5未満の者の割合	6.6	17	3.4	7.8
010.肥満(BMI25以上)者割合	30.7	13	21.9	36.3
B.IADL				
011.IADL(自立度)低下者(1項目以上)割合	10.0	8	7.2	15.2
C.生きがい				
012.幸福感がある者(8/10点以上)の割合	50.3	5	39.9	51.4
D.社会参加・社会関係				
013.同じもの者割合	6.7	11	2.9	8.5
014.ボランティア参加者(月1回以上)割合	9.3	6	5.0	13.7
015.情緒的(心配事や憂鬱)サポート受領者割合	95.0	9	93.4	98.6
016.情緒的(心配事や憂鬱)サポート提供者割合	92.7	14	91.9	96.2
017.遠いの場参加者(月1回以上)割合	6.3	9	1.5	18.4
018.町内会・自治会参加者(月1回以上)割合	7.9	3	2.6	9.5
019.独居者割合	21.3	20	12.4	21.3
020.孤食者割合	8.2	8	5.6	12.4

選択地区

02

地域診断書 凡例

市町村平均

上位 (75~100%)

四分位範囲/IQR (ミドル 50%)

下位 (0~25%)

散布図 相関係数(r) = -0.050 | 決定係数 = 0.003 | 回帰方程式: $y = -0.012x + 15.459$

カーソルを点に合わせると、その点がどの市町村（小地域）を表しているか市町村名（小地域名）が表示される

地区名	X: 候補 017.通いの場参加者(月1回以上)割合 全体 (2022年度)	Y: 候補 001.要支援・要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による) 全体 (2022年度)
n1	4.979	15.471
〇〇	6.324	17.041
〇〇	6.315	14.634
〇〇	6.295	16.002
〇〇	5.602	16.110
〇〇	1.477	16.401
〇〇	4.574	15.680

[印刷プレビュー](#)

フィルター ▼
マップ | テーブル

指標の選択

人ログループを選ぶ

全体 ▼

カテゴリーを選ぶ

A 要介護リスク ▼

指標を選ぶ

001 要支援・要介護リスク点群 ▼

調査年度

2022年度 ▼

凡例

001. 要支援・要介護リスク点群の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)

© OpenStreetMap contributors

記述統計

地区数 (データ数): 20.0
 平均値: 15.4 中央値: 15.4
 最小値: 13.6 最大値: 17.0

範囲: 3.4
 下四分位: 15.0
 上四分位: 15.9
 四分位範囲: 0.9
 分散: 0.8
 標準偏差: 0.9

市町村間比較/地域差

経年比較/時系列変化

地域診断書

項目名	値	ランキング	パフォーマンス棒グラフ	
▼ A.要介護リスク				
001.要支援・要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)	17.0	20	13.6	17.0
002.フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	22.2	19	14.7	23.1
003.運動機能低下者割合(基本チェックリスト)	11.7	19	6.1	14.3
004.1年間の転倒あり割合	32.6	15	23.1	38.8
005.物忘れが多い者の割合	42.9	12	37.1	51.4
006.独居者19歳以下の者の割合	58.6	10	32.1	71.1
007.笑う者の割合	92.5	9	89.6	94.3
008.うつ割合(ニーズ調査)	16.6	15	12.5	18.6
009.BMIが18.5未満の者の割合	6.6	17	3.4	7.8
010.肥満(BMI25以上)者割合	30.7	13	21.9	36.3
▼ B.IADL				
011.IADL(自己独立)低下者(1項目以上)割合	10.0	8	7.2	15.2
▼ C.生きがい				
012.幸福感がある者(8/10点以上)の割合	50.3	5	39.9	51.4
▼ D.社会参加・社会関係				
013.閉じこもり者割合	6.7	11	2.9	8.5
014.ボランティア参加者(月1回以上)割合	9.3	6	5.0	13.7
015.情緒的(心配事や愚痴)サポート受領者割合	95.0	9	93.4	98.6
016.情緒的(心配事や愚痴)サポート提供者割合	92.7	14	91.9	96.2
017.遠い場所参加者(月1回以上)割合	6.3	9	1.5	18.4
018.町内会・自治会参加者(月1回以上)割合	7.9	3	2.6	9.5
019.独居者割合	21.3	20	12.4	21.3
020.孤食者割合	8.2	8	5.6	12.4

選択地区	地域診断書 凡例
02	市町村平均 上位 (75～100%) 四分位範囲/IQR (ミドル 50%) 下位 (0～25%)

印刷へ進む場合はここをクリック



町村間比較(自立者のみ) 地域診断書 | 要介護リスク

要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)

項目名	値	ランキング
要介護リスク		
要支援・要介護リスク点数の平均点 (要支援・要介護リスク評価尺度による算出)		
フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)		
運動機能低下者割合(基本チェックリスト)		
1年間の転倒あり割合		
認知症リスク得点(認知症リスク得点による算出)		

印刷の手順 (3)

印刷

合計: 1 枚の用紙

プリンター

KONICA MINOLTA bizhub C36... ▼

部数

1

レイアウト

☒ 縦

☐ 横

ページ

☒ すべて

例: 1-5、8、11-13

印刷 キャンセル

JAGES2022 市町村間比較(自立者のみ) 地域診断書 | 要介護リスク(2022年度)

指標の選択

人口グループを選ぶ

全体 ▼

カテゴリーを選ぶ

要介護リスク ▼

指標を選ぶ

要支援・要介護 ▼

凡例

記述統計

地区数 (データ数): 75.0

平均値: 15.5 中央値: 15.5

最小値: 13.2 最大値: 18.5

範囲: 5.3

下四分位: 15.0 上四分位: 16.1

四分位範囲: 1.1

分散: 0.9 標準偏差: 0.9

市町村間比較/地域差

経年比較/時系列変化

2010年度 2022年度

2010 2013 2016 2019 2022

要介護リスク

要支援・要介護リスク点数の平均点 (要支援・要介護リスク評価尺度による算出)

フレイルあり割合 (基本チェックリスト8項目以上)

運動機能低下者割合 (基本チェックリスト)

1年間の転倒あり割合

認知症リスク得点 (認知症リスク得点による算出)

認知症リスク者 (7点以上) 割合

物忘れが多い者の割合

口腔機能低下者割合 (基本チェックリスト)

残歯数19本以下の者の割合

うつ割合 (GDS5点以上)

笑う者の割合

うつ割合 (ニーズ調査)

うつ割合 (基本チェックリスト)

フレイルなし割合

フレイルあり割合

生活機能低下者割合 (基本チェック)

選択地区

地域診断書 凡例

市町村平均

下位 (0~25%)

四分位範囲/IQR (ミドル 50%)

各種設定後、印刷ボタンをクリック

地域マネジメント支援システムの 結果の読み取り方

JAGES 2022

地域診断書の読み取り方（1）

タイトルの読み取り方

選択した指標の結果がほかの市町村（小地域）と比較して3分位の何番目に入っているか確認できる

- ・どの地域が良い／悪い？
- ・それらの地域は固まっている／分散している？
- ・重点対象地域は？

JAGES2022 300BM 地域診断書 | A.要介護リスク（2022年度）

フィルター マップ | テーブル

001. 要支援・要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)

指標の選択

人口グループを選ぶ

全体

カテゴリを選ぶ

A. 要介護リスク

指標を選ぶ

001. 要支援・要介護リスク点数

調査年度

2022年度

凡例

カテゴリ/指標名を選択

⇒数値が大きい方が良い（リスクが低い）のか、悪い（リスクが高い）のかは指標によって異なる

上四分位: 15.9
四分位範囲: 0.9
分散: 0.8
標準偏差: 0.9



今回の数値と過去の数値の推移

（他市町村との比較ではない）

- ・目標値を達成しているか？
- ・改善／悪化しているか？
- ・設定した目標値の設定が妥当か？

地域診断書の読み取り方

どの指標が良いか（悪いか）確認し、重点的に見ていく指標を確認する。

- ・良い／悪い指標は？
- ・現場感覚から妥当／意外？
- ・他の指標との関連から妥当／意外？
- ・どの指標を施策対象にするか？

地域診断書の読み取り方（2）

今回の数値と市町村平均

- ・目標とすべき数値は？
- ・目標値を達成しているか？
- ・設定した目標値の設定が妥当か？

対象者数

- ・数が小さいほど誤差範囲が生じやすい
- ・規模の参考に

他市町村と比較した順位

- ・現場感覚から妥当／意外？
- ・どの指標を施策対象にするか？

JAGES2022 300BM 地域診断書 | A.要介護リスク（2022年度）

フィルター

マップ | テーブル

指標の選択

人口グループを選ぶ

全体

カテゴリを選ぶ

A. 要介護リスク

指標を選ぶ

001. 要支援・要介護リスク点数

調査年度

2022年度

凡例

001. 要支援・要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)

地区名	値	対象者数	ランキング
11. 〇〇	15.3	1,029	10
11. 〇〇	15.5	661	11
01. 〇〇	15.5	2,963	12
01. 〇〇	15.7	3,426	13
01. 〇〇	15.7	3,617	14
17	15.8	228	15
04	16.0	1,320	16
05	16.1	1,636	17
06	16.4	504	18

地区選択解除

フィルター解除

比較対象

値

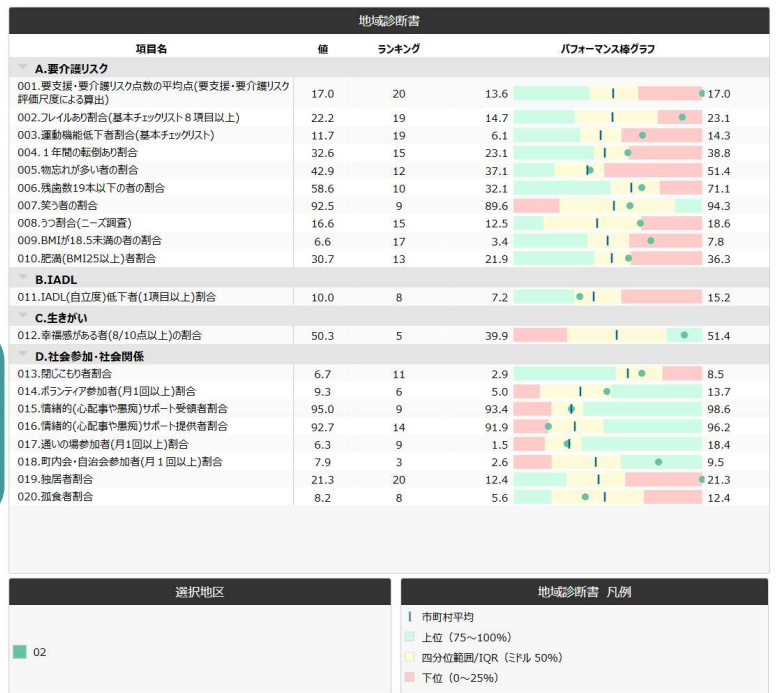
市町村平均

15.4

地域診断書の読み取り方（3）

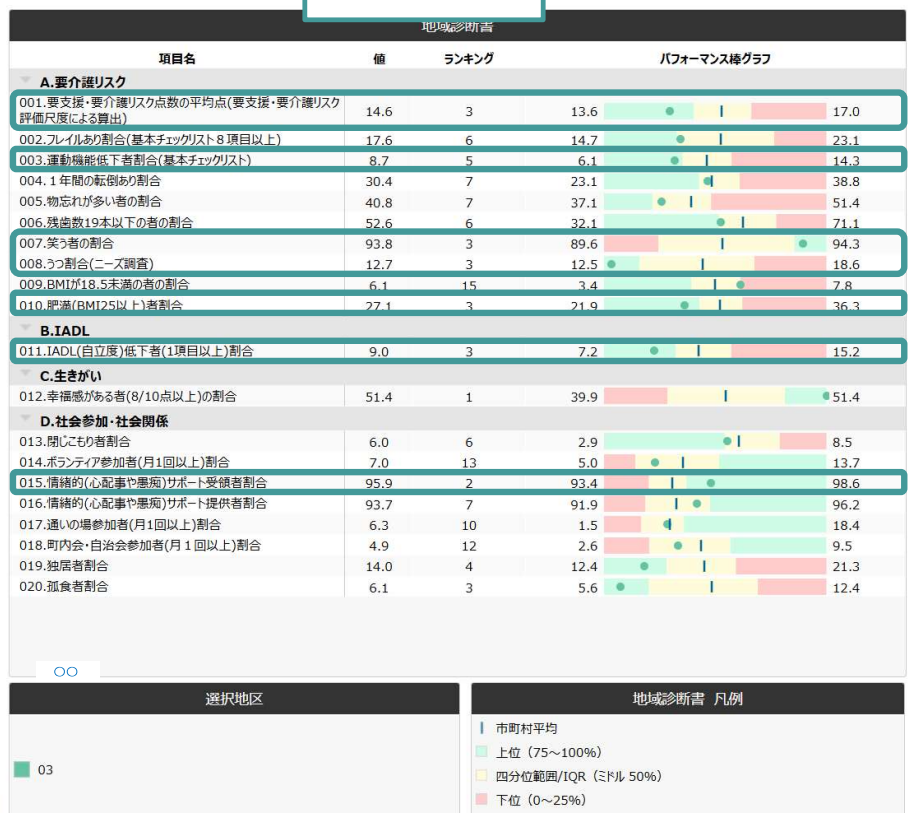
JAGES2022 300BM 地域診断書 | A.要介護リスク（2022年度）

指標定義 散布図 印刷プレビュー



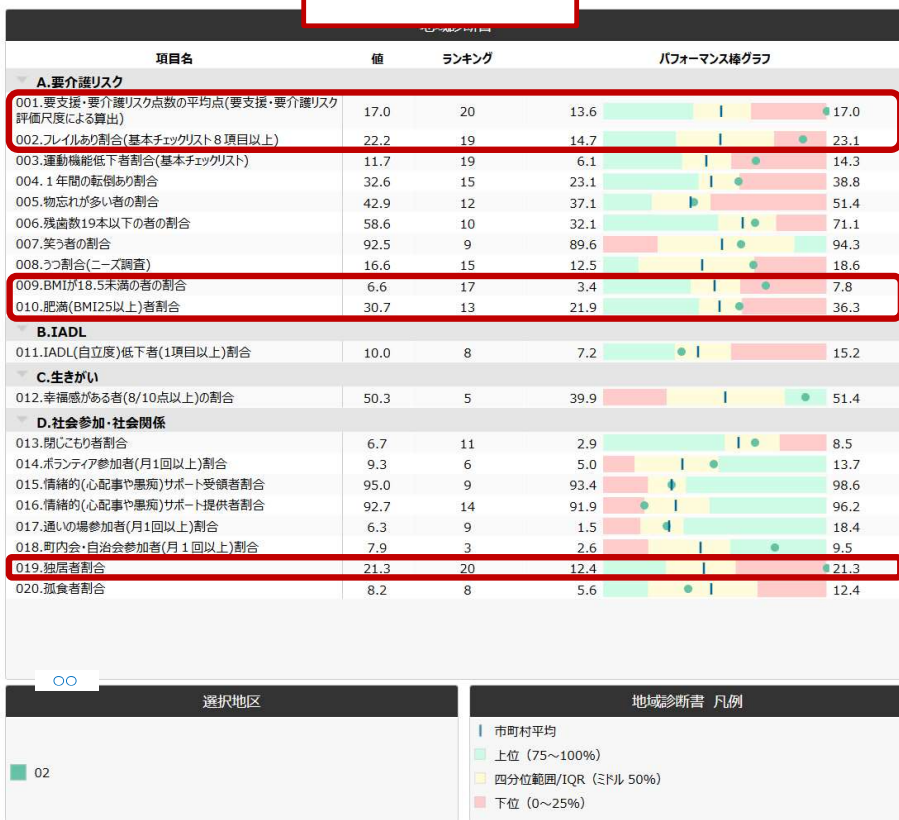
地域診断書の読み取り方（4）

地域の強みを
発見しよう



地域診断書の読み取り方（5）

地域の課題を発見しよう



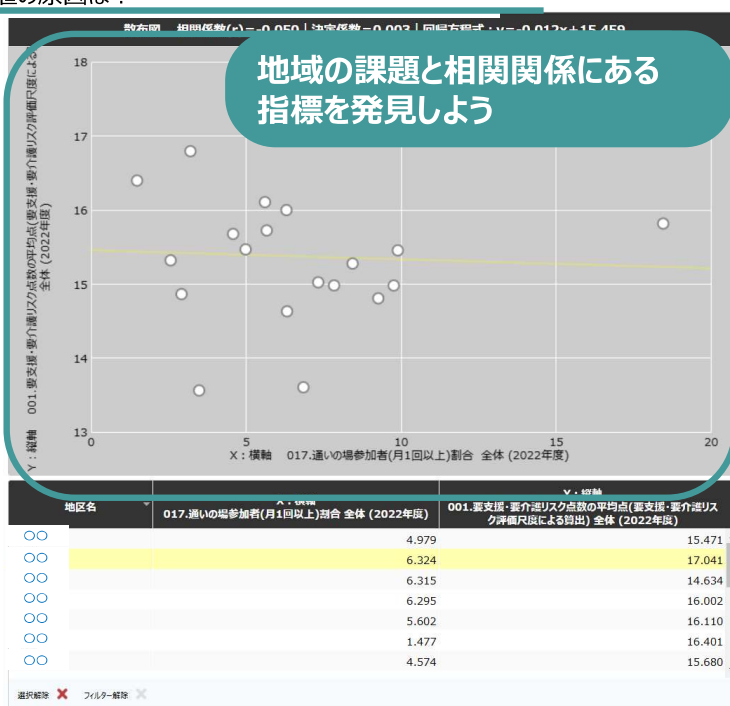
相関図の読み取り方

相関図の読み取り方

- 相関の強い指標は？ 逆相関にも注目
- 特に「要因」と思われる指標との相関に注目
- 「相関がある」と思っていた指標と実際に相関がありそうか（あるいは、その逆）

- 「相関係数」は大きいほど強い相関を示す
0.2~0.4：弱い相関、0.4~0.7：中程度の相関、
0.7以上：強い相関
- 小地域（一つの点）のサンプル数が少なければ
「外れ値」になる可能性が高まる
- 外れ値の原因は？

指標定義 地域診断書 印刷レビュー



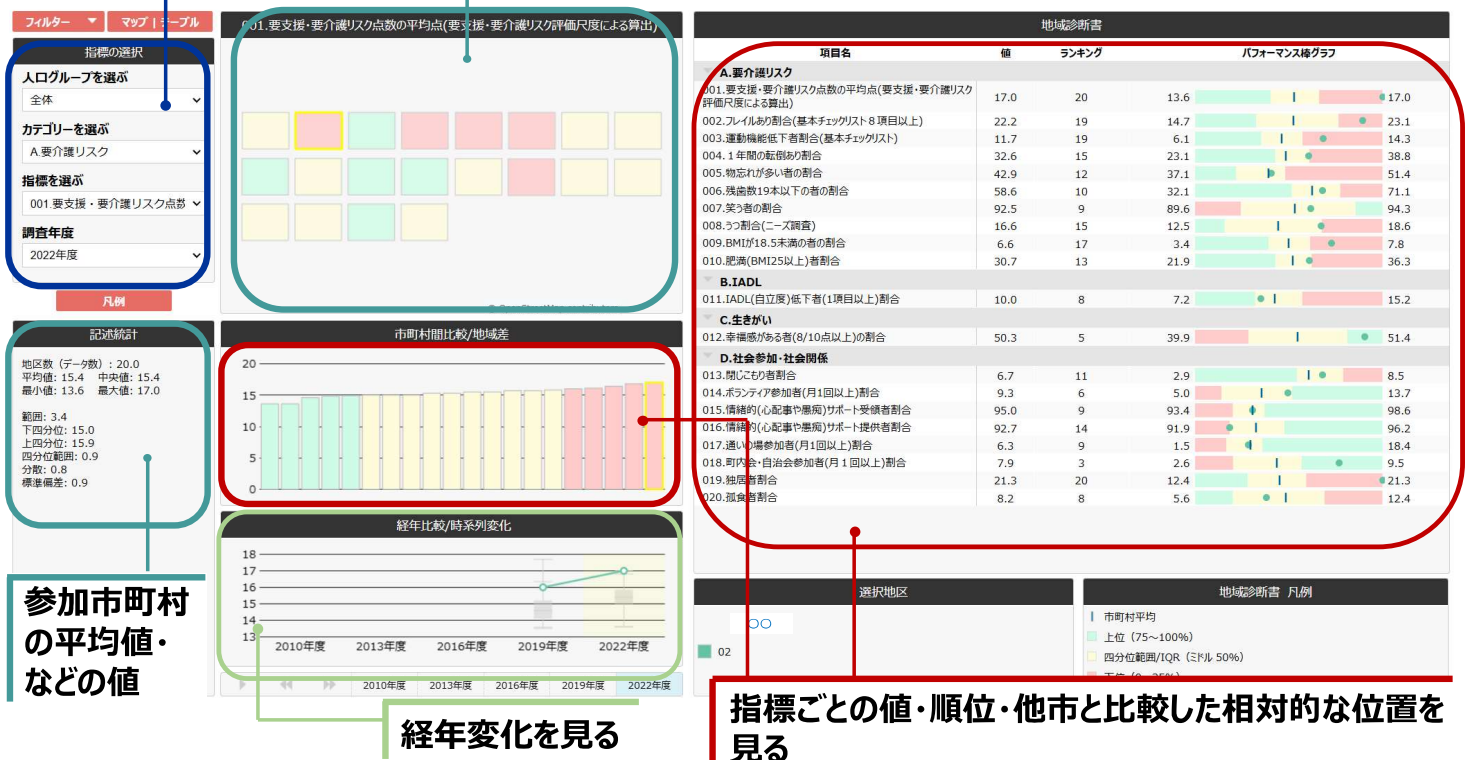
まとめー地域診断書の読み取り方

指標名・調査年度を選択

JAGES2022 300BM 地域診断書 | A.要介護リスク(2022年度)

市町村(小地域)を選択

指標の定義・散布図・印刷



重点対象地域選定シートの格納場所について

